

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 52

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成27年7月30日<2014. 7. 30>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@csw-iba.org

「ソーシャルワーカーデー2015いばらき」を開催しました！ in 水戸協同病院

「海の日（今年は7月20日）」はソーシャルワーカーデーです。それに先立ち19日（日）、「未来を拓くソーシャルワーカー～新発見！縁の下のプロフェッショナル～」と題し、ソーシャルワーカーデー2015いばらきを開催いたしました。昨年に引き続き茨城県社会福祉士会・茨城県精神保健福祉士会・茨城県ソーシャルワーカー協会の共同開催です。

第1部では当会の竹之内会長が「だからソーシャルワーカーはおもしろい」というテーマで講演を行いました。第2部では施設相談員、行政職員、MSW、NPO職員の若手ソーシャルワーカーが仕事のやりがいと魅力についてリレートークを行いました。そして第3部の「答えちゃいます 個別質問Time」では、現場で働くソーシャルワーカーが行政・医療・施設の3ブースに分かれ参加者の方の疑問・質問にお答えしていきました。学生さんなど最初は緊張されている方もいらしたようですが、次第に打ち解け和やかな雰囲気の中で熱心に質問をされておりました。ぜひとも参加して下さいました学生さんたちから、将来会で一緒に活動できる方が生まれたり嬉しかったですね！



目次、「ソーシャルワーカーデー2015いばらき」を開催しました！・・・1

福祉関係者のための成年後見制度活用講座に参加して・・・2

会員の声「どんな社会福祉観を持っている？」・・・3

各ブロック活動報告・・・4、6～8

（県央ブロック、県南ブロック、県西ブロック、鹿行ブロック）

「横浜発！精神障害者ピアヘルパー西純一劇場」に参加して・・・5

編集後記・・・8



福祉関係者のための成年後見制度活用講座に参加して



県央ブロック 小川 舞

今回、初めて2日間講座を受講させていただきました。この研修に参加してまず驚いたことは、地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉と、様々な領域の方が一堂に会していたことです。現在、成年後見制度がいかにか多くの領域から関心を寄せられているか、また必要とされているかを、見せられた気がしました。

研修初日、最初は竹之内会長より「福祉サービス利用と成年後見」についてお話をいただきました。社会福祉基礎構造改革を背景とした制度の流れや大枠だけではなく、市民後見及び法人後見の動きや、障害者権利条約の批准に伴う今後の課題など、新たな情報も学ぶことが出来ました。続いて、水戸家庭裁判所の間野氏より、「成年後見制度の概要」についてご講義いただきました。成年後見制度の内容を学ぶだけではなく、成年後見制度の基盤となっている民法の考え方に触れるなど、普段とはまた違う角度から制度を見る機会にもなりました。初日の最後は、「法定後見などの申し立て実務について」を、リーガルサポートの綿引氏と川又氏のお二方よりお話をいただきました。本人の状況や財産、成年後見人等の候補者だけではなく、家族の情報もまとめる必要があるなど、申立もかなりの労力を費やすものだと感じました。

研修2日目は、始めに茨城県社会福祉士会会員の大類氏より、「日常生活自立支援事業と成年後見制度」についてご講義いただきました。日常的な金銭管理等の直接支援だけではなく、見守りの機会を増やして、本人の生活変化に迅速に対応することも、重要な援助になっていることを、事例を通して分かりやすく解説していただきました。最後は「成年後見人の職務について」を、茨城県弁護士会の小沼氏よりお話いただきました。成年後見人を継続して務めていくには、後見人自身がしっかりと知識を身に付け、利用者の権利を守ると同時に、自分自身をも守らなくてはならない事を学びました。

さて、研修が行われた4月の新聞記事にて、認知症高齢者の成年後見申し立てを、市町村長が行う件数が過去5年で2~3倍に増加しており、認知症高齢者の孤立が浮き彫りになっていると掲載されていました。また、今回の研修の中で、第3者後見人も増加していると講義がありました。これらのことから、社会福祉士が成年後見に関わるケースも増えていくのではないかと思います。社会福祉士の共通基盤である「利用者の権利擁護」のためにも、今後も本講座などで、成年後見制度について学び続けていく必要があると感じました。

最後になりますが、お忙しい中、私たち受講生に有意義な時間を下さった講師の先生方、社会福祉士会の研修担当の皆様、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



私が、福祉の道に入ったきっかけは、大学を卒業して就いた最初の仕事を辞めてしまった頃に、当時、街の広報誌にヘルパー3級の資格取得が無料で受けられるという記事が載っていたのを見て、軽い気持ちで受講したことでした。もちろん興味がなかったわけではないのですが、講習の担当だった方にのせられて、ヘルパー2級も取得、気が付いたら有償ボランティアにまで登録していました。その頃、出会った研修の仲間や、現場実習させていただいた施設の方は、とても魅力的な人ばかりで、自分としても運がよかったなと感じています。その当時、一番気に入っていた活動は、高齢者の雪かき（冬季限定）で、帰る前に少し世間話をしてるのがとても楽しみでした。

と、まあ、こんなよくある感じのきっかけだったのですが、研修を受けた仲間の一人が、偶然にも大学の後輩で、色々話を聞いていくと、学費のために新聞配達の仕事をしていること、さらに、障害者宅に夜間のヘルパーに行っているという事を知り、本人の生活面での苦勞もさることながら、高齢者の介護ぐらいのイメージしかなかった私には、障害者宅に寝泊まりして介助するという仕事があること自体が衝撃的でした。ホント、今思うと『こんな夜更けにバナナかよ』をイメージさせるような世界でしたし、「ん？福祉って一体、何なんだろう。」と真剣に考えさせられました。

当然？答えは出ないままでしたが、ボランティアという事もあり、しばらくは楽しく活動することが出来ました。ただ、男性が福祉の仕事に就くには給料面も含めてまだまだ難しい時代でしたし、生活するためには仕事にも就くわけで、本業の方が忙しくなるにつれ、自然と福祉からは遠ざかることになってしまいました。その後、人生色々ありながらも、福祉の道に戻ってきたのは、約6年後の今の職場に就いてからでした。

現在の法人では、身体障害者の入所施設から始まり、作業所、知的障害者のデイサービス、そして、現在は、相談支援事業所の相談員として働かせていただいております。やはり、どの職場にいたときも、気にかかっていた（意識するようにしていたといった方が正しいかもしれませんが）のは「福祉って何だろうか？」という自分自身への問いかけでした。障害者、高齢者、児童などに分けて考えることもありますが、大きく言えば、みんなの幸せを目指すことなんだろうなと感じています。ただ、個々の関係の中で実際に支援していく時はどうでしょうか？支援をする人も求める方も、お互いそれぞれの価値観があるわけで、さらには、社会理念なども絡んできて、どの辺で、どのように折り合いをつけていくのか？そこが福祉の仕事の面白いところなのでしょうが・・・。難しいところでもあります。

職場の同僚や先輩、または、県社会福祉士会などの集まりの場で、私も含めた皆さんがそれぞれ持っている“福祉に対する思い”をぶつけ合いながら成長していく機会が持てればいいなと思っています。



県央ブロックだより



こんにちは。夏本番！ですが皆さまいかがお過ごしでしょうか。

春からの活動を振り返りますと3月28日には「横浜発！精神障害者ピアヘルパー西純一劇場」を開催し、60名の方がお越しになりました。時間いっぱいまで質疑応答がなされ「当事者の方の声は参考になりますね」「西さんみたいに人生を楽しめるように生きていきたい」という暖かな感想がたくさん寄せられました。これからも会員の皆様からの要望に応えられるような研修を企画しますので、どうぞお楽しみに！

また、懇親会も定期的に行っており親睦の場になっています。ぜひ酒宴でもお会いしましょう！！



「横浜発！精神障害者ピアヘルパー西純一劇場」を企画して

障害者自立支援センター みなみかぜ 滝口康子

10数年前に研修で知り合った西さんに講演を依頼したところ快く引き受けて頂き、さっそく原稿を書き始めて下さいました。「書いているうちに燃えてくるんです！」「講演では燃え尽きたいです！」という言葉通り、彼でしか伝えることのできないピアヘルパーとしての実践の数々とこれからの自分の夢について語ってくれました。悩み苦しみを味わいつつも諦めずに生きている姿勢に、参加者の方々から「一つ一つの言葉に重みがあります」「本物のプロだと感じました」「統合失調症の方の質問に対する回答も素晴らしかったです」「これからも発信して下さい」と応援のメッセージが感想の中に寄せられました。

援助職として関わり続けることで「プロになりたい」という気持ちが生まれ、それを「本」として「形」に残されています。ご関心のある方は、ぜひお読み下さると幸いです。

- 1、精神障害を乗り越えて 40歳ピアヘルパー誕生
 - 2、西 純一の精神障害者ホームヘルパー日記
 - 3、西 純一プロへの道程 精神障害者ホームヘルパーとして
- } 全て文芸社より出版されています

*当日の会場には当事者、ご家族、福祉関係者の方々にお集まりいただきました。当事者の方々が集まり意見を語り合う場を地域の中にもっと設ける必要があると思いました。このような場作りをまた企画したいと考えています。事業所に通われているメンバーさんと共に参加された県南ブロック会長猪瀬さんからもコメントをいただいております。猪瀬さん、またご協力を頂いた皆様、ありがとうございました。

◆勉強会のお知らせ◆

「生活保護制度と生活困窮者支援」について

■講師：水戸市社会福祉協議会 自立相談支援室
相談支援員 柏 裕子氏

■日にち：平成27年8月22日（土）

■時間：10:00～12:00（受付9:30）

■場所：茨城県総合福祉会館 小研修室A



◆視察旅行のお知らせ◆

■日にち：平成27年 9月6日（日）

■視察先：府中市武蔵台1-10-2
社会福祉法人多摩同胞会
母子生活支援施設「白鳥寮」

*詳細は、別紙案内をご覧ください



「横浜発！精神障害者ピアヘルパー西純一劇場」に参加して



社会福祉法人ゆっころ 地域活動支援センターふれんず

施設長 猪瀬 厚

事業所に通われているお二人のメンバーより講演会の感想をいただきましたのでご紹介します。

ピアヘルパー西純一さんの話を聞いて、障害を持ちながら仕事をする事の素晴らしさを感じました。西さんが精神障害でありながらヘルパーを行い一生懸命仕事をしている。障害を持ちながらだって頑張れるのだと言うことを強く感じました。

ピアヘルパーの仕事はすごく大変だが頑張っていることは素晴らしいことです。

自分は、知的障害と身体障害を併せ持っています。私も毎日、就労継続支援B型で仕事をしており、やりがいを感じています。仕事をするのと疲れますが楽しいです。西さんの話を聞いて感動し、力が湧いてきて今後の仕事を頑張っていきたいと思います。精神障害者の方はもっと大変なことがわかりました。ありがとうございました。



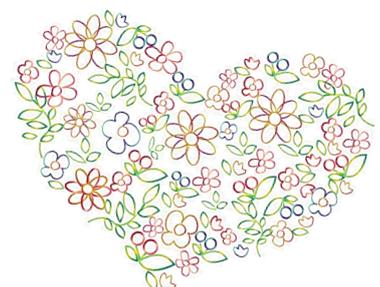
社会福祉法人ゆっころ
地域活動支援センターふれんず利用 足立国夫

西さんのお話を聞いて、すごく本当に精神の障害を持っているのにヘルパーさんの資格を取られてすごく、お仕事が大変だと思いました。

私も知的障害を持っています。西さんに自分は、知的障害があるんですと質問したら「障害があっても大丈夫ですよ」と言われました。「色々な方がいますが、お話しもちゃんとできるし、自分のことを責めたりしないで頑張ってください」と西さんから、このような言葉をいただき勇気が出てきました。これからは、自分のままでずっと生きていきたいです。



社会福祉法人ゆっころ
地域活動支援センターふれんず利用 矢田エリ子



県南ブロック活動報告

ホームページ ⇒ <http://ibanancsw.hp2.jp>

県南ブロックの活動もおかげ様で7年目に入りました。そこの貴方！土浦市・つくば市・稲敷市・つくばみらい市・守谷市・取手市・牛久市・龍ヶ崎市・阿見町・河内町・利根町・美浦村の方は県南ブロック所属ですよ～!! まだ参加したことがない方も、新しく入会した方も、ぜひぜひ顔を出してみてくださいね♪

研修会「相談援助の記録の書き方II」を開催しました!

7月11日は待望の研修会『相談援助の記録の書き方II』を開催しました。こちらは3月に開催しご好評を頂いた研修会の第2弾。前は6時間をかけて行う内容を3時間に凝縮して頂いての開催でしたが、今回は演習も含めじっくり6時間。講師は引き続き福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター特命准教授の八木亜紀子先生です。

「読まれるための記録」皆さん日常の業務の中で意識できているでしょうか？業務で普段から関わる他職種は勿論のこと開示を求められればご家族やご本人、時に警察や弁護士、裁判官にも読まれる可能性のある記録。誰が見ても分かりやすい記録を書くことがなぜ大切なのか、そのような記録を書くためにはどうしたら良いのかなど具体的に学ぶことができました。業務に直結する内容だけに、講義、模擬面談を見ての演習、グループワーク、発表と皆さん熱心に取り組まれておりました。



会員による会員のための学び合いの時間を始めました!

2か月に1度のペースで開催しているブロック会議&懇親会。今年度からはより参加する意義を感じて頂けるように、ブロック会議の時間の中で会員による自主企画での勉強会をスタートしました。

第1回目は土浦市役所の加藤会員が担当し、新聞記事をもとにして「ケースから社会福祉士として考えられること」について検討しました。そして第2回目は元つくば市役所の高野会員が担当し「ひとり暮らし高齢者の支援」について取り上げ勉強しました。

今後もブロック会議の中で勉強会を行っていく予定です。皆さんぜひご参加ください。



★今後の研修会★

県南研修事業部では後期に法律に関する研修会を検討中です。決まり次第ホームページ等で告知いたします。皆さんどうぞお楽しみに♪

★今年もやります★

毎年恒例となりつつある「こころみ学園収穫祭視察研修」。今年も11月に開催の予定です！日程等は後日ホームページ等でお知らせします☆



けんせいつうしん

県西ブロックの皆さん、いかがお過ごしでしょうか？もうすぐ夏本番！イベント等でお忙しい方も多いと思いますが、体調には気をつけて頑張りましょう～♪

さてさて、今日の内容は…①リレートーク第1回（野村幸代さん）、②お仲間募集！（吉原徹さん）③SWカフェ第1回開催のお知らせ の3本です！

リレートーク

みなさん、こんにちは。野村幸代（ゆきよ）と申します。

今年の4月から、結城市地域包括支援センター南分室で、社会福祉士ですが、主任介護支援専門員で所属しています。当センターは、結城市からの委託のサブセンターになります。全国的に地域包括支援センターは委託型が多いのですが、茨城県内においては直営型より委託型の方が少ないのが現状です。当面は、当センターが軌道にのること、生活圏域の地域を知ること目標に頑張っていきたいと思っています。まだまだ未熟ですので、どうぞご指導のほどよろしくお願い致します。情報交換したいと思いますので、何かありましたら、次のメールまでご連絡ください。 yuki-minami@houkoukai.or.jp
今回は、青嵐荘路のとう舎の石田さん、よろしくお願い致します。

お仲間募集！

古河市役所に勤務しております吉原と申します。

私は4月の人事異動で、新たに始まった「生活困窮者自立支援事業」の担当になりました。昨年度からの準備不足もあって、いまだに事業が軌道に乗れていない状態です。目の前の相談者の方の対応をしながら、何とか事業の整備を行っています。

県西ブロックもしくは県内の市町村や社会福祉協議会に勤務されている方で、この事業を担当されている方はいらっしゃいませんか？いらっしゃいましたら、ぜひ情報交換をさせて頂いたり、事業の実施について教えて頂きたいと思っておりますので、下記までご連絡ください。

E-mail: tooru.yoshihara@city.ibaraki-koga.lg.jp

SWカフェはじめます

お互いに支え合い、繋がりあえる会でありたい…そんな想いで「SWカフェ」を始めます。

仕事の分野や経験はもちろん、会員・非会員も関係なし！

お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。

古い蔵を改装した“和カフェ”で、素敵な時間を過ごしましょう。

新しい出会いや発見が、きっとあるはずです。お待ちしております！



日時：平成27年8月22日（土）14:00～17:00

※お好きな時間にお越し下さい。入退室自由です。

場所：甘味茶蔵 真盛堂 2F（住所：結城市結城 1362）会場マップはこちら↓

参加費：お好きな飲物を注文して下さい（甘味は用意します♪）

問合せ先：岩田 メール: m.iwata@city.yuki.lg.jp

※次回以降の日程について連絡が欲しい方は、メール下さい



鹿行ブロックだより



夏の暑さも本番を迎えるこの頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

鹿行ブロック活動を銚田地区が担当し、早いもので2年目を迎えることが出来ました。昨年度は3回研修会を行うことが出来ました。これも会員の皆様のご協力、ご支援があったからのことです。ありがとうございました。

今年度は「解決志向アプローチ」の研修を予定しております。現在、講師を調整中です。

解決志向アプローチについては平成25年度に鹿行ブロック活動で研修をしていますので、ご存知の方は多いかと思えます。「何がいけないのだろう」と考える代わりに、自分が望む未来を手に入れるために、「何が必要なのだろう、何が出来るだろう、どうやったら出来るのだろう」と考え、一緒に解決を作り上げていきます。このアプローチは子どもの問題から成人の問題まで、さまざまな相談への対応が研究されており、さまざまな現場で適用されています。今年度は、児童福祉や高齢者虐待など、さまざまな場面を想定し、実際のようにアプローチしていくのかという内容で研修を考えております。

前回、都合があわず研修会に参加できなかった方、もっと理解を深めたいと考えている方など、ふるってご参加いただければと思っています。

今回の「鹿行ブロックだより」で研修の日程案内が出来ればよかったのですが、現在調整中ですので、決まり次第お知らせします。

今年度も、鹿行ブロック活動のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

鹿行ブロック長 澤井 喜久江

**Facebook ページも
よろしくお願いします！**

[https://www.facebook.com/csw.
ibaraki](https://www.facebook.com/csw.ibaraki)

皆さまぜひ「いいね！」や
フォローをお願いします☆



【編集後記】

毎日とても暑い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか？施設にお勤めの方では夏祭りや納涼祭等の準備にお忙しい方もいらっしゃるかもしれませんね。熱中症になりやすい季節ですのでご利用者さまはもちろんのこと職員の皆さんも水分補給をしっかりと体調管理に気を付けていきましょう！

新年度に入り丸4ヶ月が経とうとしていますが、新入職員や配置換えのあった皆さまはお仕事に慣れてきた頃でしょうか？お近くに社会福祉士をお持ちで会に入っていない方がおられましたらぜひ入会のお声掛けをお願いいたします。

広報事業部

